

無病息災を願う

木津薬師火祭りが十周年



なんとか神様と村民の方々の力を授かり、この暗い雰囲気吹き飛ばしたいなどの思いから再開し、今年で十周年をむかえました。同日午後四時から、八歳以下の小学生児童、園児達三十一名による山伏や着物姿の「稚児行列」が行われました。亀田郷みなみ農協木津支所を出発し、本堂まで練り歩く間には、我が子の頭の冠を直したり、ハンカチで汗を拭きとる母親や、記念写真を撮る父親、また



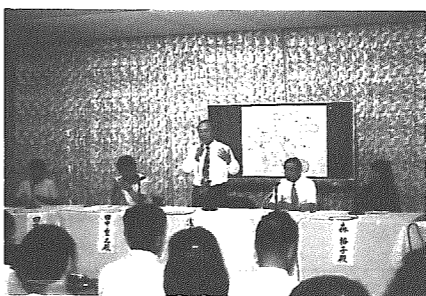
かわいらしい稚児行列

優しく見守る付近の住民の方々の姿が見られました。夕闇せまる午後七時過ぎには、薪が山と積まれた境内に山伏姿の修行僧が入場し、「放弓の儀」「剣の儀」「宝剣の儀」などの儀式が行われたあと点火。その頃にはあたりはすっかり暗くなり、燃え盛る炎の前で無病息災を祈る読経の声が荘厳に響きわたっていました。下火になったところ薪を敷き広げ、山伏に続いて子供からお年寄までがそれぞれの願いを胸に秘め、火渡りを行っていました。

農業の今後を考える

～よこごし街づくり講演会・討論会～

八月二日J.A.亀田郷みなみ横越基幹支所において「よこごし街づくり講演会・討論会」が開催されました。当日の悪天候にもかかわらず、浅見村長を含む農業関係者など約七十名もの出席がありました。会では、近年の村内人口増加に伴い混住化が進む中、農業と他産業の調和のとれた地域づくりのために、今後どのように取り組むべ



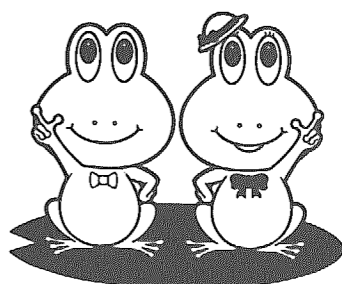
農業の展望を語る浅見村長

それに伴う講演会では、新潟大学農学部伊藤忠雄教授より

きであるかという問題について話し合われました。

ご協力ありがとうございました。「愛の協力運動」

平成7年度「愛の協力運動」に寄せられた浄財は、245,537円でした。寄せられた浄財は、亀田横越分区保護司会を通じ、地域の青少年の非行防止や、保護観察を受けている人たちの更正資金などに使われ、犯罪や非行のない明るい街づくりに役立てられます。



9月10日は
下水道促進デー
「街が生き
暮らしがはずむ
下水道」

「いま農業に求められているもの」と題し、さまざまな角度から今の農業を捕らえた興味深い話となされ、参加者の中には熱心にメモを取る姿も見られました。その後のフォーラムでは、「AFカガヤキ」の代表取締役の立川さんなど五人の代表者が、村に対し要望や自分達の今後の方針を発表しました。要望された中には「横越村の将来の土地利用計画、むらづくり計画を明確にするべき」「農業の大切さを認識して、支援することが必要」などがありました。

健康シリーズ

骨粗しょう症予防について

～丈夫な骨をいつまでも～

今回は、最近よく聞かれるようになってきました骨粗しょう症についてです。どんな病気なのかといいますと、骨粗しょう症の「粗」とは「あらう」という意味です。また、「しょう（鬆）」というのは、「ス」がはいるという意味です。骨の量が減って、骨がスカスカになっておろろろなる病気のことを骨粗しょう症といえます。

骨粗しょう症は、圧倒的に女性に多いのが特徴です。これは、閉経期を境に骨をつくるうえで大切な役目をしている女性ホルモンが失われ、骨の量が急に少なくなるからです。

骨粗しょう症になると、どういふことが起こるのでしょうか。それは、骨が大変おろろろ折れやすくなったり、つぶれやすくなるために、ちよっとまづいただけで骨折してしまいます。骨盤と足をつなぐ関節の部分にある大腿骨頭部を骨折すると「寝たきり」の原因になります。

それでは、骨粗しょう症を予防するにはどうすれば、いいのでしょうかか。



①カルシウムをたっぷり取る。骨粗しょう症の一番の原因はカルシウム不足であるといわれています。成人の一日に必要なカルシウム量は、約600mgとされていますので、たっぷりとってください。

②毎日、「歩く」など運動をする。

③日光にあたる。

以上三つのことを心掛けるとともに、骨の検診を受けることをお勧めします。村では、十月三日から始まる子宮癌検診に合わせて、三十歳から五十五歳までの女性で希望する人を対象に、



骨粗しょう症予防検診を実施します。骨の量を検査し、骨粗しょう症の危険性がないか調べます。そして、その結果をもとに十一月下旬に、結果指導会を行います。また、一月から二月にかけて、各地区で骨粗しょう症予防教室も実施しますので、是非、この機会を逃さずに、参加して下さい。

骨を丈夫にする生活習慣に心がけて、すこやかな毎を送りましょう。

沢海育成会 サマーキャンプ

沢海地区では七月三十日に上川村の常浪川河畔において、サマーキャンプを実施しました。当日は天候にも恵まれ、子供から大人まで合わせて百六十名もの参加があり、夏の一日を楽しんでいました。



常浪川河畔でサマーキャンプ

会場には早朝五時より現地の場合所取りをするなど役員の方々が中心となり、全員がそれぞれ作業を手分けして行いました。河原ではバーベキューや豚汁を作りましたが、思いのほか串に刺す作業に手こずり、食べる早さに追い付かない程でしたが、自然の中で食べる昼食には、みなさんとても満足そうでした。そのほか、競泳、スイカ割り、ビンゴゲームと盛りだくさんの

内容でした。

木津下子供会 親子キャンプ

夏休みに入って最初の日曜日の七月三十日に、恒例の木津下子供会日帰りキャンプが、新発田市の五十公野公園で開催されました。

当日は、真夏の太陽がじりじりと照りつける中、親子含めて七十七名もの参加者があり、おおいに賑わいました。昼食には豚汁を手分けして作り、その見事な出来上がりに参加者はおいしそうに舌鼓を打っていました。

そのほかにも、宝探し、魚釣り大会、ビンゴゲーム、アスレチック、湖畔の散策など盛りだくさんの日程で、夏の一日を満喫しました。



五十公野公園で親子キャンプ